



Next

発行所 (社)茨城県建設業協会・建設未来協議会
〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-22
電話 029 (221) 5126 (代)
発行人 大貫茂男
編集 日本工業経済新聞社水戸支局

平成22年度基本方針

建設未来協議会 会長 大貫茂男

我々建設業界においては、建設投資の激減に歯止めがかからず、長年にわたる公共事業の削減による受注の減少、競争の激化による利益率の著しい低下、さらには金融機関からの資金調達の困難や不動産市場の低迷などにより、地域で雇用と経済を支えてきた企業が倒産や廃業に追い込まれるという、非常に厳しい状況が続いております。

それに追い討ちをかけたかのような昨年夏の国政選挙・衆議院選、歴史的な政権交代により民主党を中心とした新政権が誕生し、公共事業を景気対策の選択肢とはせず、「事業仕分け」において財政規律を大義に、大幅に公共投資が削減されました。

結果、今年度の公共事業費は全体でも前年度比マイナス 18.3%と大幅に減少、茨城県も例外ではなく前年度比マイナス 16.2%となり、ますま

采協議会 第18回



す厳しい状況下ではありますが、会員企業が一致団結してこの難局を乗り越え、活力ある業界団体となれるよう、精一杯努力してまいりたいと思います。

さて今年度も事業計画に基づき、4つの委員会と6つの地区会の活動を中心に進めてまいりま

す。会員の皆さんが積極的に参加、協力することにより有効な情報を学び共有し、全県下にネットワークを形成することから生まれるメリットを、各企業で最大限に活かしていただきたいと思います。

私は日ごろより、企業が地域に存在する意味・意義について、最も重要であり最大の地域貢献は「雇用と納税」だと思っています。今、一番難しい問題でもありますが、会社を健全に経営しながら社会資本整備を通じて企業の社会的責任を果たすこと。そして、社会資本整備の重要性と必要性を世論に理解していただけるよう努力すると同時に、我々がエンドユーザ

一のベストパートナーであることに、自信と自覚と誇りを持つことが大切であると思います。

いずれにしましても我々を取り巻く環境は、今までにない速いスピードで大きく変化をしております。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」。受身ではなく、望むべき未来を切り拓くために、その変化に的確に、そして柔軟に対応できる業界団体として、協会本部のご指導をいただきながら、皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。

本年度も会員並びに関係各位の皆様方の更なるご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

平成 22 年度 第 18 回定時総会開催

総務委員会 新井 紀雄

当協議会の平成 22 年度第 18 回定時総会を 5 月 21 日、水戸市のフェリヴェールサンシャインにて会員 55 名の出席と多数の来賓を迎え開催した。

冒頭で大貫会長は現況を「今までにない早いスピードで変化している」としながら、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでも無い。唯一生き残るのは、変化出来る者。受け身ではなく、望むべき未来を切り開くため、変化に的確かつ柔軟に対応する業界団体でありたい」とイギリスの自然科学者、ダーウィンの名言を用いてあいさつ。

また、協会本部の岡部高明事務局長が「地域建設業のさらなる疲弊と地域経済の衰退が懸念される。こうした状況のもと地域の実情を理解している我々が、地域活性化を提案しなければならない。また、一般の人に建設業の良さを理解してもらう努力も重要。そのためには協会本部と未来協議会の協力が必要」と岡部英男会



長のあいさつを代読。

議事では平成 21 年度の事業報告や収支決算報告、規約改正、平成 22 年度の事業計画案や収支予算案、役員承認案など 7 議案を審議し、全会一致で可決した。

そのうち役員承認案では、水戸地区の幹事に(株)内藤工務店の内藤裕一郎氏を補選した。

議案審議後、来賓あいさつに立った大島恭司茨城県土木部総括技監は、茨城港日立港区における日産自動車(株)の輸出第一船入港の話題に触れながら「これも高速道路などが一体的に整

備されているからこそ。今後も企業誘致とネットワーク整備に力を入れたい」と述べたほか、県内建設業者の受注機会について「昨日までに県内 12 ヶ所の国出先機関にお願いしてきた」と取り組み状況を説明。

児玉好史常陸河川国道事務所長は「皆さまあつての社会資本整備と維持管理。その自覚、自負を持っていただきたい。我々も地元企業の受注機会確保に取り組む。ただ、昨年度は事故が多かった。これは重要な問題。各社にさらなる安全管理をお願いしたい」と述べた。

また、児玉所長は大貫会長のあいさつ内容に共感し「わたしも同じ思い。役所もいろいろな批判を受けているが、それを真摯に受け止め、自らを変えていかなければ」と決意を新たにされた。



来賓の大島県土木部総括技監 来賓の児玉常陸河川国道事務所長

その後、重度障害者である濱宮郷詞氏による記念講演を行い、懇親会に移った。懇親会には多数の来賓の方にも出席して頂き、新入会員の紹介など大いに盛り上がった。

「困難を乗り越え強く生きる」記念講演開催

総務委員会 櫻井 俊一

平成 22 年度定時総会終了後、講師に濱宮郷詞氏を迎え「困難を乗り越え強く生きる～人と人助け合う心、人間として最も大切なこと～」という演題のもと、記念講演が開催されました。

濱宮氏は高校三年の時、棒高跳びの練習中に首の骨を折り、手足が動かぬ重度障害者になりながらも、数々の困難を乗り越え、力強く生きる姿を語っていただきました。

講演の中で「皆さんの前には山があります。どんなに高く険しい山が分からない。それでも一步一步でよいから登ってください。そしたら必ず頂上に着きます。そこからは必ず美しい景色が見えます。絶対に自分に負けないこと。私はこれからもポロポロになるまで前に向かって生き抜きます」というメッセージをいただきました。

我々業界の置かれている立場は、依然厳しい状況が続くことが予想されますが、今自分達が



濱宮 郷詞氏

何をすべきか、何ができるかを見つめ直し、逆境に一步一步立ち向かって行けば、新たな光が見えてくるのではないかという思いにさせられました。濱宮さん素晴らしいメッセージをありがとうございました。

また今回の講演にあたり、東日本建設業保証(株)様には多大なるご支援をいただきましたことを御礼申し上げます。

委員会紹介

総務委員会

担当副会長 梅原基弘
委員長 木村晃

総務委員会は、5月21日に実施いたしました定時総会及び記念講演、茨城県土木部ならびに国土交通省との意見交換会などの研修会、また11月に開催する親睦行事などの未来協議会全体の事業の企画運営を主に活動し、その他には、季刊誌NEXTの6月・12月の年2回の発行、会員名簿の作成や役員会の運営、会員の連絡調整および情報提供などの活動を行います。今年度は新たに水戸地区の田山さん、県南地区の郡司さん、細谷(貴)さんの新メンバー3名を加えて、さらに活発な活動いたしますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

<今年度の主な事業>

1. 季刊誌NEXT(年間2回)の企画・編集・発行
2. 総会、役員会の企画運営
3. 各委員会、地区会、会員への連絡調整、情報提供
4. 未来協議会の予算決算に関する業務
5. 会員名簿の作成
6. 各発注機関との意見交換会の開催及び運営
7. 講演会・講習会の開催
8. 親睦行事等の開催及び運営



茨城県土木部との意見交換会 ▶

人材育成委員会

担当副会長 小薬拓巳
委員長 菊地和幸

人材育成委員会は次世代を担う高校生・専門学校生などを対象とし、建設事業の正しい理解とその魅力を伝えるべく活動しております。主な事業は、会員企業様に多大な協力を頂き実施している「現場実習」と県内の大規模プロジェクトを見学する「現場見学会」です。本年度も数多くの学校と連携をとりながら委員全員で力をあわせて活動してまいります。

<今年度の主な事業>

1. 高校生・専門学校生を対象とした現場実習の実施
2. 高校生・専門学校生・大学生を対象とした現場見学会の実施
3. 高校・専門学校教師との意見交換



現場見学会 ▶

地域貢献活動委員会

担当副会長 鶴田 哲男
委員長 山崎 剛

当委員会は「建設フェスタ」の企画・運営が主たる事業内容です。

今年で17回目となる「建設フェスタ」は10月下旬にひたちなか地区で開催の予定です。時節柄、暗い話題が多くなりがちですが、子供たちや一般県民の方々に建設業の本当の姿を正しく理解して頂き、また、元気や活力を生み出すきっかけとなるような「フェスタ」を目指しています。「建設フェスタ」が楽しく盛大なイベントになるように、委員一丸となってしっかり準備したいと思います。

<今年度の主な事業>

1. 建設フェスタ2010の開催
2. パンフレットの作成等の広報活動
3. 献血事業等社会貢献活動へのサポート



昨年の「建設フェスタ2009」▶

建設システム委員会

担当副会長 端 利一
委員長 柴 直樹

建設システム委員会の事業内容は、会員の皆様及び経営者の皆様を対象とした講習会の開催を企画しています。

講習会の内容は、これからの委員会の活動の中で協議してより興味深いものを企画したいと考えております。また、建設フェスタにおいて、骨髄バンクドナー登録と献血会を引き続き開催する予定です。

<今年度の主な事業>

1. 講習会の開催（上・下半期の二回）
2. 骨髄バンクドナー登録と献血会の開催
3. 研修会・勉強会の開催



▲ 現場代理人講習会

平成 22 年度 建設未来協議会 年間行事予定表

月	時期	全体行事	役員会	総務委員会	人材育成委員会	地域貢献活動委員会	建設システム委員会
4	上旬			・第 1 回委員会		・フェスタ実行委員会 (幹事会)	
	中旬		・役員会 会計監査				
	下旬						
5	上旬						
	中旬		・役員会	・第 2 回委員会	・第 1 回委員会 ・学校との意見交換・日程調整	・フェスタ実行委員会 (幹事会)	
	下旬	・21 日 定時総会・記念 講演 (総務委員会担当)		・21 日 定時総会・ 記念講演			
6	上旬			・第 3 回委員会	・第 2 回委員会	・第 1 回建設フェス タ実行委員会	
	中旬		・役員会			・第 1 回委員会	
	下旬			・NEXT6 月号発行 ・会員名簿発行			・第 1 回委員会
7	上旬			・第 4 回委員会	・水戸工業現場オリエンテーション・実習 ・県南オリエンテーション	・第 2 回建設フェス タ実行委員会	
	中旬		・役員会		・文化デザイナー現場見学	・第 2 回委員会	・第 2 回委員会
	下旬			・第 5 回委員会	・下館オリエンテーション・実習 ・つくば工科・日建工科現場実習		
8	上旬		・県との意見交換会 (総務委員会担当)	・県との意見交換会		・第 3 回建設フェス タ実行委員会	・第 3 回委員会
	中旬		・役員会			・第 3 回委員会	
	下旬	・講習会の開催 (建設シ ステム委員会担当)		・第 6 回委員会			・講習会の開催
9	上旬		・関東建設青年会議 総会		・文化デザイナー現場実習 ・水戸工業現場見学 (建築)	・第 4 回建設フェス タ実行委員会	
	中旬		・役員会	・第 7 回委員会	・つくば工科現場見学	・第 4 回委員会	・第 4 回委員会
	下旬						
10	上旬				・つくば研究学園現場見学	・第 5 回建設フェス タ実行委員会	
	中旬		・役員会	・第 8 回委員会	・猿島高校オリエンテーション ・水戸日建工科現場見学	・第 5 回委員会	・第 5 回委員会
	下旬	・建設フェスタ(24日予定) (地域貢献活動委員会担当)			・水戸農業現場見学 ・茨城大学現場見学	・建設フェスタ (24 日予定)	・骨髄バンク登録会、献血の 開催(建設フェスタ開催時)
11	上旬				・猿島高校現場実習 ・水戸工業現場見学 (土木)		
	中旬		・役員会	・第 9 回委員会	・下館工業現場見学		
	下旬	・19 日 忘年会 親睦ゴ ルフ (総務委員会担当)	・全国建設青年会議 全国大会	・19 日 忘年会 親睦ゴルフ			・第 6 回委員会
12	上旬			・第 10 回委員会		・第 6 回建設フェス タ実行委員会	
	中旬		・役員会			・第 6 回委員会	・第 7 回委員会
	下旬			・NEXT12 月号発行			
1	上旬						
	中旬		・役員会	・第 11 回委員会	・第 3 回委員会		
	下旬						・第 8 回委員会
2	上旬						
	中旬	・講習会の開催 (建設シ ステム委員会担当)	・役員会	・第 12 回委員会	・第 4 回委員会・反省会		・講習会の開催
	下旬						
3	上旬						
	中旬		・役員会	・第 13 回委員会			・第 9 回委員会
	下旬						

企業の礎に事業承継を学ぶ

建設システム委員会 委員長 柴 直樹

去る 3 月 26 日に建設技術研修センターにて、建設システム委員会主催、東日本建設業保証(株)様協賛の講習会を開催いたしました。講師に(株)リンクスの佐藤正人氏を招きテーマに「事業承継・事業再生」を掲げ、約 30 名のメンバーが参加いたしました。

「事業承継」は、次代を担う若手経営者において抱える大きな問題の一つであり、その問題には「ヒト」…旧体制との融和など、「カネ」…資金繰り（金融機関からの信用）、相続税など、「情報」…旧体制や情報源との融和など、このような問題点の成功例と失敗例の事例を掲げて分かりやすく解説をいただきました。参加者からは「直前に控えた事業承継に関し、相続税対策や組織組成



に関し大変勉強になりました」などの声をいただきました。

今年度の講習会もこれから企画していきますので、たくさんの方の参加、そして御協力をお願いします。

平成22年度 建設未来協議会新規会員 名簿

地区名	氏名	商号	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	承認日
高萩・太田地区	高岡 藤夫	珂北開発(株)	313-0131	常陸太田市花房町51-1	0294-76-2088	0294-76-3449	H21.7.16
県南地区	郡司 直美	郡司建設(株)	300-0837	土浦市右舩2775-3	029-841-0464	029-842-4039	H21.7.16
県南地区	木村 保幸	キムラ工業(株)	300-1234	牛久市中央3-22-1	029-870-2111	029-873-1121	H21.7.16
県西地区	石井 宏幸	(株)大木組	300-2746	常総市鴻野山1725-1	0297-43-7879	0297-43-7595	H21.8.6
高萩・太田地区	鈴木 達二	鈴縫工業(株)	317-0077	日立市城南町1-11-31	0294-22-5760	0294-22-5675	H21.8.26
水戸地区	田山 浩之	第一熱学建設(株)	310-0851	水戸市千波町2499-5	029-243-1151	029-241-7166	H21.11.11
県西地区	松本 浩治	(株)新栄開発	306-0416	猿島郡境町伏木1373-1	0280-87-3122	0280-86-7133	H22.1.20
水戸地区	根本 昌義	(株)根本工務店	310-0913	水戸市見川町2131-436	029-241-1227	029-241-8500	H22.2.18
大宮・大子地区	河野 真	(株)河野工務店	319-1117	那珂郡東海村東海2-1-19	029-282-1333	029-283-1363	H22.2.18
大宮・大子地区	野上 大輔	野上建設(株)	319-3114	常陸大宮市野上257	0295-57-2521	0295-57-2560	H22.2.18
大宮・大子地区	清水 亮	(株)田本工務店	312-0046	ひたちなか市勝田泉町14-6	029-272-4321	029-272-4322	H22.3.16
県西	高崎 弘道	(株)高崎建設	306-0126	古河市諸川2514-1	0280-76-2834	0280-76-2899	H22.4.13
県南	細谷 貴弘	細谷建設工業(株)	300-1403	稲敷郡河内町金江津5107	0297-86-2111	0297-86-2623	H22.5.17

未来協議会会員募集!

本会は建設業に従事する次代を担う経営者が魅力ある建設業の創造と発展に寄与する事を目的として設立され、会員の資質を高めるための研修・会員相互の親睦・経営の合理化及び労働環境改善に関する調査研究・建設業のイメージアップのためのPR活動・協会の事業に対する協力などの事業を行っております。

会員資格
年齢が平成22年3月末現在、満49歳以下の方

詳細は建設業協会本部事務局までご連絡ください
TEL 029-221-5126 担当 鈴木

会員体験談 横信建材工業(株) 横須賀 靖 (平成 21 年 6 月入会)



昨年、建設未来協議会に入会し、建設フェスタや中学生の体験学習などの活動から、一般市民への建設産業の重要性をPRすることや、将来の人材育成の必要性など、普段では経験できないものが勉強できました。また、当会の活動などを通して、同世代の多くの会員の方々と交流を深めることも出来ました。今後も建設業の次世代を担う組織の一員として恥ずかしくないよう勉強していきたいと思います。

編 集 後 記

平成 22 年度も始まり、新政権の動向が注目される中、定時総会が行われました。

総会后、濱宮郷詞氏による『困難を乗り越え強く生きる』という演題のもと記念講演が行われました。講演の中で濱宮氏が「物の見方を変えることが大事」とおっしゃっていましたが、これは、大貫会長が掲げた平成 22 年度の基本方針の中にある「唯一生き残るのは変化できる者である」ということと通ずるものがあると感じました。

不況が謳われる中、平成 21 年度は新規加入者 16 名と、多くの仲間が増えたことは大変心強く思います。新規加入してくださった方々を含め、会員一丸となり、世情を見据え、情報交換をすることにより、客観的・多角的視野を広げていけば、これから先、明るい兆しが見えてくると確信しています。

(N. T)